

資料 2

平成30年度 学校生活相談センターの相談状況について(8月末現在)

心の支援課

◆件数・回数 of 同期比較◆

	前年度 H29年度(～8月末)		本年度 H30年度(～8月末)	
相談件数	283件	→	348件	(65件 増)
延べ回数	386回	→	564回	(178回 増)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	151	43.4%	219	38.8%
	夜間・休日	164	47.1%	264	46.8%
文書 (メール・FAX・手紙)	33	9.5%	72	12.8%	
来所	0	0.0%	9	1.6%	
計	348	100.0%	564	100.0%	

・前年度と比較すると、平日昼間・夜間ともに増加傾向にあり、相談件数は約3割、延べ回数は約5割増増加している。

・来所相談は、電話相談のあと来所相談を希望するケースが多いため、延べ回数のみ9回となっている。

2 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
相談者から連携希望があった案件	22	6.3%	36	6.4%
傾聴を主とした案件	326	93.7%	528	93.6%
計	348	100.0%	564	100.0%

主な連携先

小中学校 … 13件
 県立高校 … 15件
 県教育委員会他課 … 2件
 教育事務所 … 6件
 市町村教育委員会 … 2件

私学振興課 … 0件
 こども・家庭課 … 0件
 児童相談所 … 0件
 子ども支援センター … 0件

3 月別相談件数

区分	件数	割合	延べ回数	割合
4月	52	14.9%	75	13.3%
5月	79	22.7%	109	19.3%
6月	73	21.0%	123	21.8%
7月	79	22.7%	141	25.0%
8月	65	18.7%	116	20.6%
9月	0	0.0%	0	0.0%
10月	0	0.0%	0	0.0%
11月	0	0.0%	0	0.0%
12月	0	0.0%	0	0.0%
1月	0	0.0%	0	0.0%
2月	0	0.0%	0	0.0%
3月	0	0.0%	0	0.0%
計	348	100.0%	564	100.0%

4 相談者の状況

(1) 主訴(相談者全体)

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	31	8.9%	38	6.7%
	不登校・登校渋り	42	12.1%	66	11.7%
	その他	83	23.8%	128	22.7%
学校・教師に関すること		100	28.7%	170	30.1%
家庭・私生活に関すること		39	11.2%	99	17.6%
意見・問い合わせ		35	10.1%	40	7.1%
その他		18	5.2%	23	4.1%
計		348	100.0%	564	100.0%

(2) 主訴(子どものみ)

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	13	9.2%	17	7.9%
	不登校・登校渋り	6	4.2%	9	4.2%
	その他	62	43.7%	98	45.4%
学校・教師に関すること		21	14.8%	40	18.5%
家庭・私生活に関すること		18	12.7%	24	11.1%
意見・問い合わせ		9	6.3%	11	5.1%
その他		13	9.1%	17	7.8%
計		142	100.0%	216	100.0%

(3) 相談者の内訳

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども		142	40.8%	216	38.3%
本人		142	40.8%	216	38.3%
本人以外の子ども		0	0.0%	0	0.0%
大人		199	57.2%	341	60.5%
父		27	7.7%	32	5.7%
母		142	40.8%	274	48.6%
祖父		2	0.6%	3	0.5%
祖母		10	2.9%	12	2.1%
その他の大人		18	5.2%	20	3.6%
不明		7	2.0%	7	1.2%
計		348	100.0%	564	100.0%

・関係機関と連携した案件は、学校・教師の対応に関する相談で目立っている。また、前年度と比べ、県立高校への連携案件が増加傾向にある(H29.8・23.8% ⇒ H30.8・36.4%)。
 ・前年度に比べ、子どもの対人的要素や個人的要素に区分される相談案件は減少傾向にあり、家庭・私生活に区分される相談案件が増加傾向にある。

5 相談対象者の状況

(1) 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	150	43.1%	253	44.9%
女	168	48.3%	274	48.6%
不明	30	8.6%	37	6.5%
計	348	100.0%	564	100.0%

(2) 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	3	0.9%	3	0.5%
小学生(低学年)	28	8.0%	39	6.9%
小学生(高学年)	44	12.6%	73	13.0%
中学生	98	28.2%	170	30.1%
高校生	142	40.8%	242	42.9%
その他	10	2.9%	10	1.8%
不明	23	6.6%	27	4.8%
計	348	100.0%	564	100.0%

(3) 学校の所在地域

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
北信	86	24.7%	218	38.6%
東信	36	10.3%	49	8.7%
中信	32	9.2%	51	9.0%
南信	28	8.1%	54	9.6%
その他	1	0.3%	1	0.2%
不明	165	47.4%	191	33.9%
計	348	100.0%	564	100.0%

・相談者は、女子の割合が若干高い。

・前年度に比べ相談対象者に占める高校生の割合が若干増加傾向にある。

8月メモ

・4月から、前年度を上回るペースで相談件数、延べ回数とも増えている。延べ回数に関しては5月から100件を越す状態が続いている。

・夜間・休日受付分の件数は前年度並みだった一方で、センター受付分は新規+9件、継続+26件と大きく増加した。特に、夏休み明け後数日は、不登校傾向にある高校生の保護からの相談が目立った。

・夏休み中ということもあり、普段はほとんどない「その他」に分類するような相談(例えば、アルバイト先や塾での悩みなど)もいくらか見られた。

・同じく夏休み中の影響か、児童・生徒自身の相談が多かった。また、LINE相談周知カードを見てかけたという中高生自身からの相談も目立った。

